

神奈川県とカンボジア王国・シェムリアップ州が 低炭素観光都市に関する覚書を締結しました！

～シェムリアップ州の低炭素観光都市づくりを支援します！～

神奈川県とカンボジア王国・シェムリアップ州は、シェムリアップ州における低炭素観光都市づくりを通じて、相互理解と友好関係を深めながら、両都市の発展に向けて協力して取り組むため、このたび「シェムリアップ州の低炭素観光都市づくりに向けた神奈川県とシェムリアップ州の協力に関する覚書」を締結しました。

1 覚書締結の背景・ねらい

日本とカンボジアは、一昨年 1 月に外交関係樹立 60 周年を迎え、特に本県には全国のカンボジア国籍の 4 割にあたる方が在住されているなど、本県と同国はゆかりの深い関係です。

さらに、カンボジアの代表的な州であるシェムリアップ州は、世界遺産のアンコールワット遺跡を有してありますが、近年、観光客の増加に伴い、急速に都市化が進み、電力不足や、排出ガスによる大気汚染など、街づくりや遺跡の保全に関して課題が発生しています。

そこで、遺跡の保全と都市の発展の両立のために本県が先進的に進めてきたエネルギー施策を活かし、シェムリアップ州における低炭素観光都市づくりを目指すこととして覚書を締結しました。

2 覚書の概要

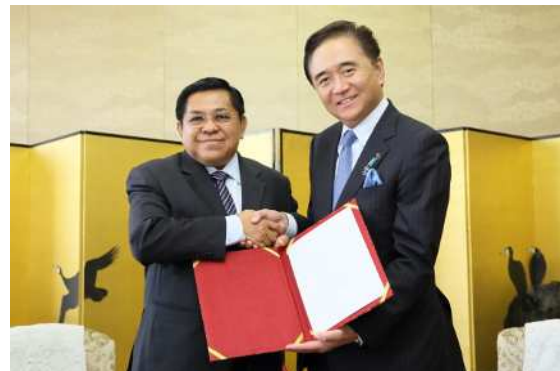
【目的】

シェムリアップ州における低炭素観光都市づくりを通じて、相互理解と友好関係を深めながら、両都市の発展に向けて協力して取り組む。

【主な合意内容】

- ・シェムリアップ州：再生可能エネルギーの活用や省エネルギー設備等の導入検討。
- ・神奈川県：低炭素観光都市づくりの推進に関する助言。特に、太陽光発電など再生可能エネルギーの導入促進、エネルギー利用の効率化、電動車両の導入促進。
- ・両地域の民間企業の経済交流に対する支援。

< 締結式の様子：ブン・タリット州副知事と黒岩知事 >



問い合わせ先

神奈川県産業労働局エネルギー部
スマートエネルギー課

課長 村上 電話 045-210-4130

調整グループ 長島 電話 045-210-4133

シェムリアップ州の低炭素観光都市づくりに向けた
神奈川県とシェムリアップ州の協力に関する覚書

神奈川県とシェムリアップ州（以下、「両地域」という。）とは、「アジアの低炭素社会実現のためのJCM案件形成可能性調査事業」を活用したシェムリアップ州における低炭素観光都市づくりを通じて、相互理解と友好関係を深めながら、両都市の発展に向けて協力して取り組むため、次のとおり覚書を締結する。

1. シェムリアップ州は、シェムリアップ州がアジアを代表する低炭素観光都市として発展していくため、再生可能エネルギーの活用や省エネルギー設備等の導入を検討する。
2. 神奈川県は、シェムリアップ州の低炭素観光都市づくりの推進、特に次の点に関し、可能な限り助言を行う。
 - ・太陽光発電など再生可能エネルギーの導入促進
 - ・エネルギー利用の効率化
 - ・電動車両の導入促進
3. 両地域は、両地域の民間企業の経済交流について、可能な限り支援する。
4. 両地域は、1～3の連携を効果的に行う上で不可欠となる情報を交互に提供する。

この覚書は、両地域の署名の日から2018年3月31日まで有効とし、両地域の評価と合意のもとに更新できるものとする。

また、本覚書は両地域間の協力関係を推進することを目的とし、いかなる法的拘束力や義務を生み出すものではない。

この覚書は、日本語、クメール語及び英語で各2部作成し、同じ内容のものを双方が保有する。

2015年11月 神奈川県庁において

日本国神奈川県知事

カンボジア王国シェムリアップ州知事

